

21世紀に
伝えたい

ちば

の魅力

No. 14

鳥たちのために守られた

谷津干潟



習志野市

干潟を埋め尽くすカモメやカモのなかま

どんな鳥がやって来るの？

習志野市にある谷津干潟は東京湾に残された数少ない干潟の一つです。高層マンションや高速道路に囲まれ、広さは約40ha。年間を通じて約60種類ほどの水辺の鳥が見られます。種類では、北半球の繁殖地と南半球の越冬地を行き来する旅鳥が最も多く、特にシギ・チドリ類の重要な中継地になっています。

干潟を一周する約3.5kmの観察路には観察壁や観察シエルターが整備されています。また干潟の南側にあ

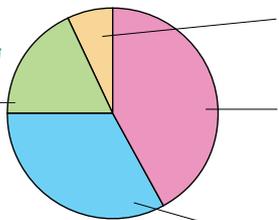


2本の水路で東京湾とつながる谷津干潟。干潮時には干潟が現れます

渡りからみた谷津干潟の水鳥

留鳥
一年中、同じ場所で見られる鳥

※主に見られる鳥(52種)を分類し、種類の多さを比較したもの。個体数の割合ではありません。



夏鳥 日本で春夏に繁殖し、秋に日本より南へ渡り去る鳥

旅鳥 日本より北で繁殖し、日本より南で越冬する。春と秋の渡りの途中で日本に立ち寄る鳥

冬鳥 日本より北で繁殖し、秋に日本に渡って越冬する鳥



ダイシャクシギ
シギ科。全長約60cmで、長く曲ったくちばしが特徴。飛ぶと腰が白く見え、動作はゆったり。鳴き声：「ホーヒー」「カーリュー」



ダイゼン
チドリ科。全長約29.5cmでチドリの中では大型。背は灰色と黒のまだら模様で写真は夏羽。鳴き声：「ビューイー」



る習志野市谷津干潟自然観察センターでは大きな窓越しに羽を休める鳥たちを間近で見られたり、展示やビデオでわかりやすく干潟や野鳥の紹介をしています。春と秋の年2回、渡りの途中に立ち寄る旅鳥たちの、夏羽と冬羽の両方の姿を観察することができます。

1988年、谷津干潟は国の鳥獣保護区(一部特別保護区)に指定され、1993年には干潟としては国内で初めてラムサール条約の登録湿地になりました。

谷津干潟で見られるおもな水辺の鳥

留鳥 カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、バン、シロチドリ、イソシギ、セイタカシギ

夏鳥 コチドリ、ウミネコ、コアジサシ

冬鳥 コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、ダイゼン、ハマシギ、ユリカモメ

旅鳥 メダイチドリ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、ハマシギ、オバシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チョウシャクシギ

※個体によって渡りの生態が異なる場合は、重複して記載しています。



鳥を驚かささないように小さな窓の開いた観察壁

●習志野市谷津干潟自然観察センター●

利用時間 ◆ 9:00～17:00 ☎ 047-454-8416

休館日 ◆ 月曜日、年末年始

入館料 ◆ 高校生以上200円 小・中学生100円

交通 ◆ JR京葉線新習志野駅、または南船橋駅からともに徒歩約20分

なぜ渡りの方向がわかるの？

渡り鳥の飛行ルートを知るために鳥の足に小さなリングやフラッグをつけて調査します。その結果、谷津干潟は下図のように、シベリアと東南アジアを縦断するシギ・チドリ類の渡りのルート上に位置することがわかっています。その中には12000kmも旅する鳥もありますが、どのようにしてその方向がわかるのでしょうか。これまでに地上の目印、太陽の位置、星、地磁気、におい、風向きなどを手がかりにしていることが実証されています。種類によって飛行の距離や速度、高度はさまざま



ですが、危険を伴う渡りをするのと引き換えに多様な環境で種の適応能力を高めたり、生息地を拡大することができます。

干潟はどうやってできたの？

谷津干潟は満潮時には水深1mほどになります。この時に流れ込んできた粘土や動物の死がい、微生物などが下に沈み、長い



干潟の泥が減ると水鳥のエサが少なくなりますが

間に積み重なって泥の層をつくっています。泥の中に生息しているヤマトオサガニやゴカイは野鳥のエサになります。干潟にはほかにオオノガイ、ウミニナの仲間、トビハゼ、ボラやハゼの稚魚などもみられ、たくさんの生物が鳥たちの生活を支えています。また泥にすむ小さな生物やバクテリアなどの微生物が有機物を分解し、水を浄化する役目を果たしています。

県内ではほかに盤洲干潟(木更津市)や三番瀬(船橋市、市川市、東京都)が知られています。

ラムサール条約って知ってる？

現在、ラムサール条約正式名称「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」に加盟しているのは119の国と地域で、登録地は1,023か所。浅い海、河川、沼、水田なども広く湿地ととらえられていて、日本国内では北海道から沖縄まで11か所あります。その中で谷津干潟は2番目に面積が狭く、一番広い釧路湿原の約197分の1の広さしかありませんが、渡りの中継地として重要な役目を担っています。



今年の「谷津干潟の日」の行事はシンポジウム、自然観察会など



オナガガモ

- 干潮時刻を調べる—東京湾より2時間ほど遅れます。鳥たちが休んだりエサをとりくる時間帯を狙おう。
- 観察のポイント—大きさや形のほかにくちばしの形や長さ、エサの取り方、独特のしぐさなども観察してみよう。

冬鳥の観察にでかけよう！

10月から3月頃まではカモ類やハマシギ、ユリカモメなどたくさんの冬鳥がやって来て干潟はとてにぎやか。澄んだ美しい夕景もこの季節の魅力の一つです。

● 観察マナーを守ろう—干潟に入ったり、生き物を捕らない。エサを与えない。驚かさないように静かに。

★毎月第2土曜開催「ぶらっと観察会」

初心者向け。定員20人。参加費100円。

※毎月1日から谷津干潟自然観察センターの窓口、または電話で申込受付。

1950年代、周辺の埋め立てが進む中、谷津干潟もヘドロやゴミでいっぱいになり、埋め立てられようとしたこともありましたが、しかし市民や自然保護団体の活動が実り危機を脱しました。保全しながら湿地資源の活用を目指すためには、市民参加が重要です。習志野市は1997年から谷津干潟の日(6月10日)を制定し、市民の実行委員会と協力してさまざまなイベントを行っています。

習志野で“はじめて”探し

日本選抜がメジャーと初試合

1934年来日した全米オールスターチームと谷津球場で初の練習試合を行いました。ペーブ・ルースらに挑んだ沢村栄治投手らの日本選抜チームは、翌年「東京ジャイアンツ」を創設し、日本初のプロ野球球団が誕生。現在の東京読売巨人軍です。日本プロ野球史上の歴史的な試合を記念して、谷津バラ園入口付近に記念碑があります。



巨人軍の歴代有名選手の手形が並ぶ記念碑

公共ホール初のパイプオルガン



高水準の音響設備が整った大ホールの中でひときわ輝くパイプオルガン

1978年にできた習志野文化ホールの目玉はドイツベッケラート社製のパイプオルガン。3512本ものパイプを組み合

わせて49の音色を出す本格派で、公共ホールでは国内で初めて設置されました。大きなパイプは長さ5m、直径30cmもあります。

交通 ◆JR津田沼駅南口から徒歩約3分

700種が咲き誇るバラ園

谷津バラ園の前身は1957年に開園した谷津遊園内のバラ園で、当時は県内初の本格的なバラ園でした。一度は閉鎖されましたが、1988年に習志野市の都市公園として復活。5～6月と10～11月、6,300株の多種多様なバラが園内を鮮やかに彩ります。ほかにも和風庭園やフロウラ像、芳香バラのコーナーなどもあり、市民の憩いの場になっています。

交通 ◆京成線谷津駅から京葉道路方面へ徒歩約5分

休園日 ◆月曜日、12/28～1/4 ☎047-453-3772
※5月、6月、10/1～11/15は休園なし。入園料、開園時間は季節によって異なります。



園内はスロープがあり、車イスでも鑑賞できます

金メダルで市民栄誉賞第7号

1988年、ソウル五輪で習志野市出身の鈴木大地選手が日本水泳陣16年ぶりの金メダルに輝き、初の市民栄誉賞が贈られました。千葉県国際総合水泳場には功績をたたえる記念碑や室内展示コーナーがあります。1996年にオープンした同水泳場は国際公認プールや飛び込みプール、初心者用プールなどがあり、広く一般にも利用されています。



交通 ◆JR京葉線新習志野駅南口前 ☎047-451-1555



鈴木大地選手の記念碑と千葉県国際総合水泳場

花の女王 <バラ>

バラ科バラ属の落葉または常緑の低木・つる性植物の総称。日本の野生種はハマナスやノイバラ(ノバラ)など十数種。園芸品種も数多く、花から香料を採るほか、ノイバラの果実は漢方薬に。

習志野市商工振興課

☎047-453-9289

習志野市HP

<http://www.city.narashino.chiba.jp/>